



「はっけん！ ノート」

にち じ へいせい ねん
 日 時：平成25年4月20日（土）8：45～16：00
こさめけっこう こうてん ばあい えんき
 ※小雨決行（荒天の場合、4月21日（日）に延期）
 ば しょ けんりつちがさきさとやまこうえん
 場 所：県立茅ヶ崎里山公園
 しゅ さい ちがさきしかんきょうせいさくか
 主 催：茅ヶ崎市環境政策課
 きょう さい こうえきさいだんほうじん かながわけんこうえんきょうかい
 共 催：公益財団法人 神奈川県公園協会
 きょう りょく やなぎやと しぜん まな かい
 協 力：柳谷の自然に学ぶ会

氏名	
----	--

さとやま 里山はっけん隊スケジュール



ちがさき産 旅の精進
えぼし麻呂 & ミーナ

8 : 4 5 集 合 市役所西側駐 車 場

9 : 0 0 出 発

9 : 3 0 到 着 : 県立茅ヶ崎里山公園

- ①調査場所に着くまでに周りのようすを見ておきましょう。
- ②里山はっけんカードを使って観察をしよう。

1 2 : 0 0 昼 食 (お弁当) (県立茅ヶ崎里山公園「パークセンター」)

1 3 : 0 0 ワークショップ (県立茅ヶ崎里山公園「パークセンター」)

1 5 : 3 0 「パークセンター」出 発

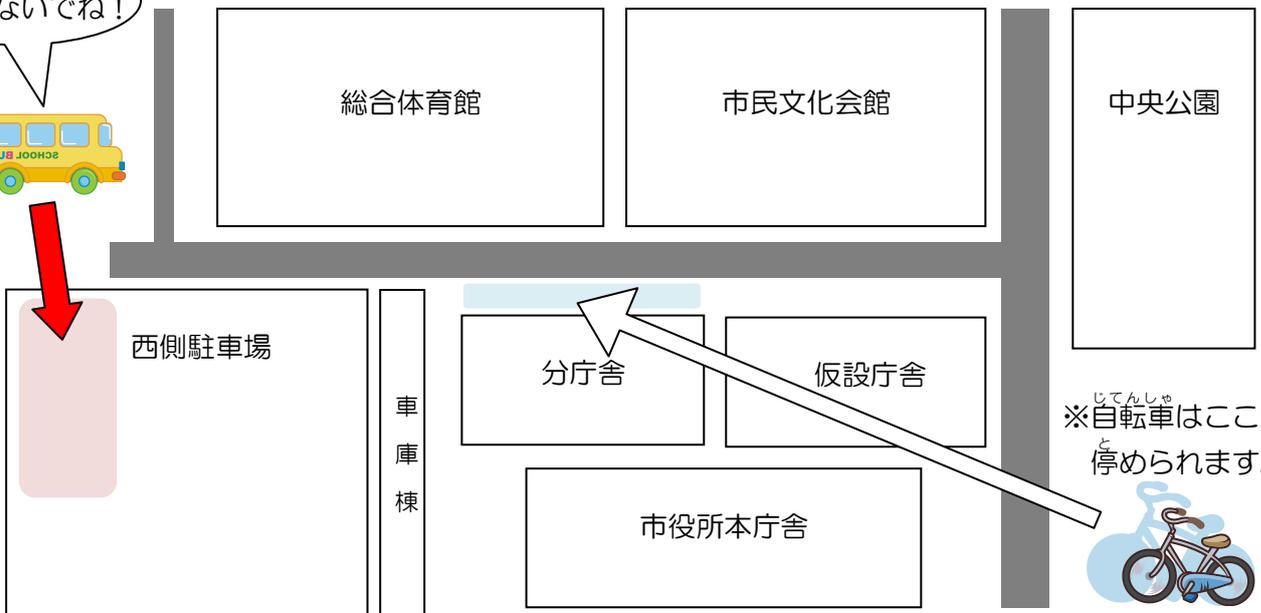
1 6 : 0 0 市役所着 解散

〔集合場所〕

※なるべく、環境にやさしい自転車やバス、電車で来よう!



おくれ
遅れないでね!



※自家用車をご利用される方へ

4月20日・21日に大岡越前祭およびちがさき産業フェアが開催されるため、中央公園側から西側駐 車 場に入ることができません。イオン茅ヶ崎中央店(旧ジャスコ)側より、総合体育館西側を通ってお入りください。詳しくは駐 車 券裏面をご覧ください。

さとやま たい かいし まえ 里山はっけん隊を開始する前に…



◎持ち物

(必ず持ってくるもの)

- お弁当
- 水筒
- 筆記用具
- タオル
- バンドエイドなど
- この冊子と黄色い地図
- 「はっけん! しょう春の野草」

(持ってくると便利なもの)

- 双眼鏡
- デジタルカメラ
- 虫取り網
- ビニール袋
- 雨具 (天候によって)
- 虫除け、虫刺されの薬

◎フィールドマナーを守ろう!

1. リーダーの言うことを良く聞いて観察しよう。
2. 大きな音や大声を出さないようにしよう。
3. 田んぼや畑には入らないようにしよう。
4. なるべく道を歩くようにし、踏み荒らしはしないようにしよう。
5. ごみは必ず持ち帰ろう。
6. 危険なものには触らないようにしよう。



※里山公園は平成26年度の全面開園に向け工事しているところがあるので、近づかないでね!

ススメバチ



※特に危険なもの!! → もし巣を見つけたら、絶対に近寄ってはダメだよ!



◎どんな服装がいいのかな?

植物のカブレ、虫さされ、トゲや枝による傷を防ぐために長そで、長ズボンで、帽子もかぶりましょう。また、ヤマカガシ(毒へび)が出ることもあるので、安全のため長ぐつをはきましょう。

さとやま 里山ってどんなところ？

みんなは里山って、どんなところか知っているかな？

里山は、人間が昔から手入れをしながら作り上げた、身近な自然環境です。里山では、人間が水路を開き、田んぼや畑を耕し、雑木林の手入れをし、そうすることで、さまざまな植物や昆虫、小鳥、うさぎなど、たくさんの生き物が生きられる環境が保たれてきました。みんなのおじいさんやおばあさんが小さかった頃よりも、ずっとずっと昔から、人間は、食べ物や水や燃料など、生活に必要なものはすべて、里山のめぐみからいただきますながら、自然と調和しながら暮らしていたのです。



さとやま 里山に行ってみよう！

「里山はっけん隊！」の活動フィールドは、県立茅ヶ崎里山公園です。懐かしく美しい里山を目指して、平成13年10月に開園しました。（全面開園は平成26年度の予定です。）

公園内には、田んぼや畑、雑木林や水辺などからなる里山の風景が広がっています。今回（第3期）の「里山はっけん隊！」では、全4回シリーズで、水辺や草地、雑木林など、異なるエリアごとの環境を詳しく調べて、生き物や人の暮らしと環境との関わりを「はっけん！」します。



だい かい
第2回「はっけん隊！」
（12月）で行った場所

こんかい
今回は黒米たんぼと
にしがわ
西側エリアを中心に
かんさつ
観察します。

だい かい
第1回「はっけん隊！」
（9月）で行った場所

べんとう
お弁当を
た
食べる
「パークセンター」

※県立茅ヶ崎里山公園全面開園
予定図（県立茅ヶ崎里山公園ホームページより）

みんなで守る「コア地域」

茅ヶ崎市では、市内の自然を調査して、特に重要な場所を「コア地域」と決めて、みんなで守っていくことに決めました。「里山はっけん隊！」で行く、県立茅ヶ崎里山公園がある「柳谷」も、「コア地域」のひとつです。みんなで守っていくためには、その場所がどのような場所で、どうして重要なのかを、みんなが知って、どうやって守っていくか、みんなで考えることが大切です。みなさんも、大切な自然環境を守るため、里山はっけん隊！で分かったことを、お友達にも教えてあげてくださいね。



茅ヶ崎市の7つの「コア地域」(特に重要な自然環境)

次は、いよいよ、里山はっけん隊！のはじまりだよ！！
みんな、準備はオッケー！？



「**里山はっけん隊!**」をはじめよう

①**観察場所を詳しく知ろう**

～**里山にはどんな環境がある?**～

里山では、水辺や草地や樹林など、ちがった環境が組み合わせることで、たくさんの生き物が育まれています。今回歩くところには、どんな環境があるのか、ちょっと予習しておこう。

た **田んぼ**

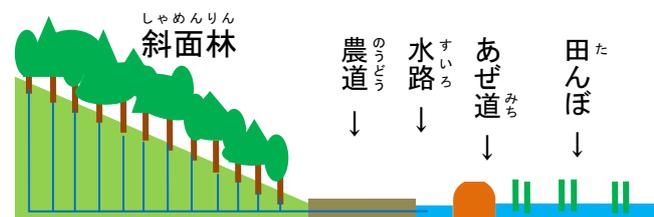
柳谷の田んぼは、斜面林が蓄えた水により一年中潤った状態が続く「谷戸田」です。水の中は小さな生き物たちのすみかです。暖かくなると小さなプランクトンが増え、おたまじゃくしやドジョウなどの水生生物が活動をはじめ、さらに鳥なども集まって、豊かな生態系が育まれます。

さくら こみち **桜の小径**

日本の野生の桜8種と神奈川県で生まれた「玉縄桜」が楽しめます。種類によって、花や実の時期が異なり、鳥が集まる木もあれば、昆虫が集まる木もあります。昆虫を見つけやすいエリアなので、よく観察してみましょう。

しゃめんりん **斜面林**

谷を縁取る斜面の林は、田んぼに水を供給する水源です。たった1本の木にも無数の生き物が関わって、豊かな生態系を維持しています。



② 「はっけん！」スタート

～ポイントは「^い生き物」と「^{ひと}人」～

いよいよ楽しい観察タイム！次のはっけんポイントに注目して、見つけたモノや場所を「はっけんカード」と黄色い地図に記録してね（カードは当日配ります）。カメラを持っているスタッフに声をかけて、写真も撮ってもらおう！

はっけんポイント①

^い生き物をはっけんしよう！（^{しぜんかんきょうちょうさ}自然環境調査）

寒い間、根や種子で冬を越していた草や、葉を落としていた木は、暖かくなると新芽や葉をいっせいにだし、花を開いたり、つぼみをつくります。さなぎや卵で冬を越していた虫たちも眠りからさめ元気に飛び回っていることでしょう。今回ののはっけん隊では、これらの生き物の姿をじっくり観察してみましよう。

★こんなものいるかな？ どこにいるかな？ なにしてるのかな？



め目だけでなく、みみ耳やはな鼻も使って、
はる春のいぶき息吹を「はっけん！」しよう！



はっけんポイント②

ひと にかか
人との関わりをはっけんしよう！ (社会環境調査)

しゃかい かんきょう ちゅうさ

さとやま ひと て くわ たも かんきょう さとやま ひと にかか
 里山は人の手が加わることで保たれている環境です。里山と人との関わりを「はっけん！」してみよう。人も含めて、自然がみんながつながっているのがわかるかな？

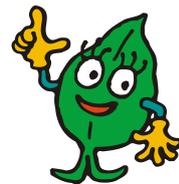
ひと にかか
★人との関わりってどんなもの？

たとえば

- ☞ 食べられる植物… (た しょくぶつ)
- ☞ 道具になる植物… (どうぐ しょくぶつ)
- ☞ 農作業に関わるモノ… (のうさぎょう にかか)



かぜ 風わたるすてきな ちくりん 竹林…
 ここも人の手が入ることで維持されています。
 リーダーの話も聞いてみよう。



はっけんポイント③

じぶん き い
自分のお気に入りをはっけんしよう！

さとやま ある じぶん す おも ばしょ きいろ ちず しるし
 里山を歩いていて、自分が「いいな」「好きだな」と思った場所があったら、黄色い地図に印をつけてね(○でも☆でもなんでもいいよ)。里山がもっと身近になって、もっと大好きになれるかも！？ 一番のお気に入り場所には、自分だけのあだ名を付けてね。あとで発表してもらおうよ♪

こしかけじんじや
 腰掛神社の

「すだじいさん」



ながめのよかった
 はっけんてんぼうだい
「発見展望台」



だい かい たい
 第2回の「はっけん隊！」では、こんな
 あだ名を付けてもらいました！



いいもの見つけた！ さとやま 里山たまたまばこ

～vol.3 春～

こんかい
今回のテーマ
やそう
「野草つみ」

やわらかな若芽や葉っぱが出てくる春は、食べられる野草（山菜）を摘んで楽しむ季節です。昔の人は、どこにどんな野草があるのかよく知っていて、この時期ならではの香りやほろ苦さを楽しんでいました。



里山公園でもヨモギやスイバなど食べられる植物が自生しているので、みんなで発見してみましよう。

つくってみよう かんたん♪ヨモギだんご

ざいりょう つく ぶんりょう
材料（作りやすい分量）

しらたまこ 100g ・水 適量 ・よもぎ 約40g

・きなこやあんこ（好みで）

- ① よもぎのやわらかい葉を摘んで、塩少々を入れた熱湯でさっとゆがき、冷水にさらす（葉が固い場合は塩の代わりに重曹を入れるとよい）。
- ② ①の水気をしぼって細かく刻む。繊維が気になる場合は、さらにすりこぎですりつぶすか、ミキサーやフードプロセッサで細かくする。
- ③ 白玉粉に水を少しずつ入れて混ぜ、②を入れて耳たぶくらいの固さにまとめ、直径2センチくらいに丸めて、中央を少し平らにつぶす。
- ④ 熱湯でゆで、浮き上がってきたからさらに1分ほどゆでる。
- ⑤ 冷水にとり水気を切って、きなこやあんこをまぶしてできあがり。

× モ ~自由じゆうにつかってね！



じかい さとやま たい
次回の「里山はっけん隊！」は
へいせい ねん がつ よてい
平成25年10月の予定です。
だい き かい
第3期のしめくくりの回ですので、
ぜひ参加さんかしてくださいね。